

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【公表番号】 特表 2005-508085 (P2005-508085A)
 【公表日】 平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-012
 【出願番号】 特願 2003-541027 (P2003-541027)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/677 (2006.01)
B 6 1 B 13/08 (2006.01)
B 6 5 G 49/07 (2006.01)
B 6 5 G 54/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/68 A
 B 6 1 B 13/08 B
 B 6 5 G 49/07 C
 B 6 5 G 54/02

【手続補正書】
 【提出日】 平成 17 年 12 月 9 日 (2005.12.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ウェーハ搬送システムであって、
 互いに反対側に位置する第 1 の壁と第 2 の壁を備えた第 1 のウェーハ搬送チャンバと、
 互いに反対側に位置する第 1 の壁と第 2 の壁を備えた第 2 のウェーハ搬送チャンバと、
 前記第 1 及び前記第 2 のウェーハ搬送チャンバの前記第 1 の壁に沿って設けられた第 1 の持上げ磁石レールと、
 前記第 1 及び前記第 2 のウェーハ搬送チャンバの前記第 2 の壁に沿って設けられた第 2 の持上げ磁石レールと、
 前記第 1 及び前記第 2 のウェーハ搬送チャンバの前記第 1 の壁に沿って間欠的に設けられた複数の推進コイルと、
 ウェーハを前記第 1 のウェーハ搬送チャンバと前記第 2 のウェーハ搬送チャンバとの間で移動させるようになった搬送シャトルとを有し、前記搬送シャトルは、前記第 1 及び前記第 2 の持上げ磁石レールと磁気結合するようになった複数の支持磁石と、前記複数の推進コイルと磁気結合するようになった複数の推進磁石とを有することを特徴とするウェーハ搬送システム。

【請求項 2】

前記第 1 及び前記第 2 の持上げ磁石レールは、前記第 1 及び前記第 2 のウェーハ搬送チャンバの前記第 1 及び前記第 2 の壁の中に埋め込まれていることを特徴とする請求項 1 記載のウェーハ搬送システム。

【請求項 3】

前記推進コイルは、前記第 1 の持上げ磁石レールに近接して設けられていることを特徴とする請求項 1 記載のウェーハ搬送システム。

【請求項 4】

前記推進コイルは、前記第 1 の持上げ磁石レールの上方に設けられていることを特徴とする請求項 3 記載のウェーハ搬送システム。

【請求項 5】

前記搬送シャトルは、前記ウェーハを実質的に水平の向きに支持することを特徴とする請求項 1 記載のウェーハ搬送システム。

【請求項 6】

前記搬送シャトルは、前記ウェーハを実質的に垂直の向きに支持することを特徴とする請求項 1 記載のウェーハ搬送システム。